

JRE情報 THIS IS イースト



自らを変える!! 明日を創る!! イーストイノベーション



ジェイアール・
イーストユニオン情報紙
第181号
令和4年 3月 13日 発行

jrtu-eu

検索



「今後の業務量の示し方について」

「変革2027の実現に向けた組織の再編について」

解明要求交渉開催！

3月10日（木）申第4号「今後の業務量の示し方について」申第5号「変革2027の実現に向けた組織の再編について」解明要求交渉を行いました。

令和3年12月9日に提示された柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、業務量の示し方について、地方でダイヤ改正における提案が進み新たな業務量の示し方で提案されています。それについて、「業務量の示し方について今までの標準数での示し方と大きく変わり戸惑いが見られる」との意見から、社員が納得し業務にあたれるよう解明要求を申し入れました。

会社側からは、「現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、年間を通した平均的な業務量の基準として、「管理・一般」に分けて示すこととする」なお、「上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや、一般社員が管理者の業務を行う場合がある」また、「業務の繁閑等に応じて、作業ダイヤを柔軟に設定（出面数や勤務種別の変更）することとする」「業務量の示し方はおおよその業務量の目安を示すもので、表示された数がそこで働く人の数字ではない」等、疑問点の解消につなげその他項目も確認しました。

また、「変革2027の実現に向けた組織の再編について」は、激変する環境変化に柔軟に対応していくため会社組織を再編しようというものであると認識しています。会社から配布資料などを活用し組合員周知を進めたところですが、組合員より、「組織再編に対する理解が不十分、掘り下げて確認すべきところもある」との意見があり、申し入れを行いました。

会社側は、「グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向けて取り組んできたところであるが、今後も激変する環境に柔軟に対応していく必要がある。社員一人ひとりが、お客様に近い場所で創意を發揮し、自己の成長と新たな価値創造を続けていくこと。「安全」や地域との関係を維持しながら、鉄道オペレーションをサステナブルに運営すること。成長戦略を強力に推進、収益力を強化し、変革のスピードアップを実現することを通じて働きがいの向上や経営体質の強化を速やかに実現するために、新しい会社をつくる」等、これからのJR東日本について掘り下げた議論を行いました。

※不明点・問題点があれば本部業務部までお知らせください。

働きがいのある会社・労働条件向上に取り組もう！
～「JR東日本の未来づくり」へ～